

回覧

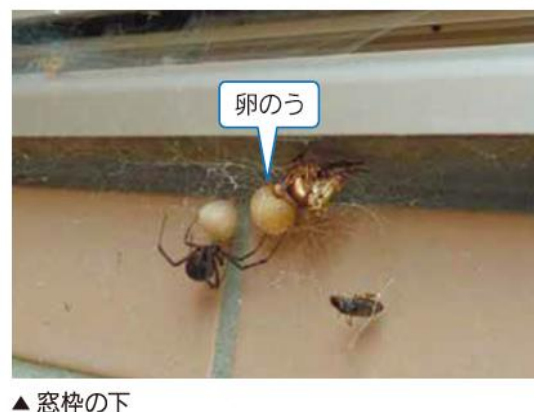
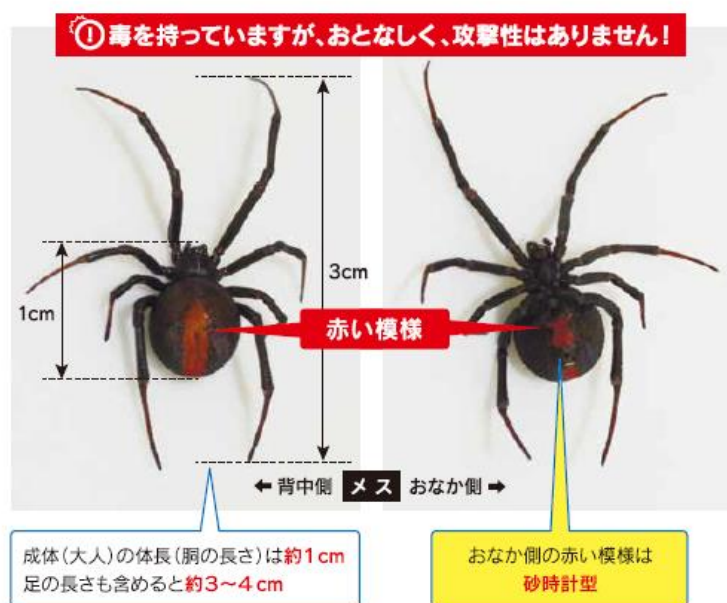
セアカゴケグモにご注意を

令和5年10月4日
市民環境経済部環境課

- ・令和5年10月3日（火）桜台3丁目地先で特定外来生物の「セアカゴケグモ」1匹と卵塊が発見されました。（クモは発見者により駆除済みです）

攻撃性はなく、おとなしいクモですが、触ると咬まれる可能性があるため、素手で捕まえたりしないよう注意してください。

セアカゴケグモ（メス）の特徴



1 特徴

- ・メスは全体的に黒く腹部背面によく目立つ赤色の模様があり、体長は10mm程度で足を広げると30mm程度です。
- ・腹部下面にゴケグモ属の特徴である砂時計様の薄赤色の斑紋があり、メスのみがα-ラトロトキシンという神経毒を持っています。
- ・オスは褐色がかり腹部背面には白い斑紋があり、体長は約4～5mm程度で、成熟したオスの頭部の触肢の先は丸く膨らんでいます。
- ・卵嚢は直径1～1.5cmで乳白色をしています。

2 生息場所

- ・側溝の内部やその網蓋の隙間。
- ・宅地の水抜きパイプの内部、フェンスの基部、花壇のブロックの内部など巣を作

る隙間があり、日当たりが良く、暖かく、餌となる昆虫がいるところに巣を作り繁殖します。

3 駆除方法

- (1) 足で踏みつぶしてください。
- (2) 殺虫剤を噴霧する。噴霧場所によっては、周囲の環境等に配慮し、側溝に噴霧処理する場合は、魚毒性の高いピレスロイドの使用を避けてください。

4 性質

- ・臆病な性格のクモで、少しの振動等でも隠れてしまうため積極的に襲ってくることはないです。
- ・捕まえたりするなど触ってしまった場合、噛みつかれることがあります。
- ・毒性は低いため、アナフィラキシーショックのように生命にかかわるような事態になることはないです。
- ・かまれた場合、局所の痛みやかゆみがあります。ごくまれに、腕をかまれて、かゆみなどが上半身に広がって出るなどのケースがあります。

【参考】

- ・セアカゴケグモは2019年8月8日現在45都道府県で確認されています。これまで市内で、セアカゴケグモに咬まれる等の事故の報告はありません。